

「沖縄県渡嘉敷村の環境および観光政策 ～受益と負担の関係から環境協力税を考える～」

入場無料
申込不要

日時

2018 年 9 月 10 日 (月) 15時30分 ～17時00分

場所

沖縄国際大学 13号館1階 研究所会議室

対象

学生・一般・教職員

講師

塚本正文(大東文化大学 社会学部 講師)

概要

渡嘉敷村はホエールウォッチング、阿波連や渡嘉志久ビーチなど観光の魅力溢れる沖縄本島から近い離島村の1つ。近年は座間味村と合わせて慶良間諸島国立公園にも指定されるなど、ケラマブルーの海はさらに注目を集めている。これらの観光資源や自然環境の維持にはお金がかかり、維持費は村財政にとって大きな課題だった。渡嘉敷村では、維持費を住民だけでなく、自然や観光資源の恩恵に与る人々にも負担を求めた。

そこで、維持費を負担している人々とは誰なのか、集めた税収の使い道は負担者に還元されているのかを確認する。環境・観光資源の維持費に苦しむ県内外の離島町村において、住民と来訪者が一緒に負担する仕組みを考えたい。

問い合わせ先: 沖縄国際大学教務部研究支援課

電話: 098-893-7967

